

知識集約型社会を支える人材育成事業(メニュー I・II)
中間評価 総括評価一覧

整理番号	メニュー	大学名	事業計画名	現地調査実施日	総括評価
1	I	新潟大学	全学分野横断創生プログラム	11月14日(月)	S
2		金沢大学	融合した専門知と鋭敏な飛躍知を持つ社会変革先導人材育成プログラム	11月17日(木)	A
3		信州大学	全学横断特別教育プログラム「ライフクリエイター人材養成コース」	11月9日(水)	B
4		大正大学	新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業	11月25日(金)	A
5		東京都市大学	ゲームチェンジ時代の製造業を切り拓く「ひらめき・こと・もの・ひと」づくりプログラム	10月25日(火)	S
6	II	麻布大学	動物共生科学ジェネラリスト育成プログラム	11月17日(木)	S

【参考】評価及び標語の定義

評価	評語
S	計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。
A	計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。
B	一部で計画と同等又はそれ以上の取組も見られるものの、計画を下回る取組があり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。
C	取組に遅れが見られるなど、総じて計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するためには、当初計画に基づく目標の早急な達成や事業規模の縮小等に向け、財政支援の縮小を含めた事業計画の抜本的な見直しが必要である。
D	現在までの進捗状況に鑑み、本事業の目的を達成できる見通しがなく、採択大学への財政支援を中止することが必要である。